

セントポール

立教大学校友会報

ST. PAUL'S ALUMNI

発行所 立教大学校友会
〒171-8501
豊島区西池袋3-34-1
電話 03(3985)2634-6
発行人/松崎昭雄
編集人/石崎 孟

http://www.rikkyo.ne.jp/grp/koyu/



2006年4月4日(火)〜5日(水)、2006年入学式が東京芸術劇場にて行なわれました。新たに開設された経営学部、現代心理学部の新入学生も加わり、希望に満ちた学生の活力でキャンパスは活気に溢れています。

2006年は立教大学が進めてきた数々の改革が結実する記念すべき年でもあります。校友の皆さまの暖かいご支援をお願いいたします。

立教大学新たな出発 2006年入試 58,714名の志願者を集める



▲2006年度入学式は学部の新設による新入学生が増えたこと、および保証人も同席できるようにと東京芸術劇場で行われた卒業式での一コマ▶

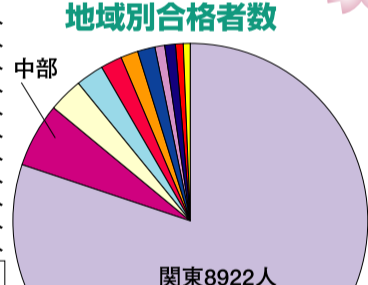
高校別合格者過去のベスト10

1986年度		1996年度	
順位	高校名	順位	高校名
1	市川	1	桐蔭学園
2	小石川	2	市川
3	川越	3	東葛飾
4	熊谷	4	千葉東
5	豊島岡女子学園	5	豊島岡女子学園
6	横浜緑ヶ丘	6	川越
7	浦和第一女子	7	浦和第一女子
8	厚木	8	船橋
9	川越女子	9	江戸川学園取手
10	富士	10	春日部

2006年入試志願者数は前年比約25.8%の増加です。2006年一般入試志願者数は58,714名であった。昨年度と比べ12.068名の増加であり、新設された経営学部、現代心理学部もそれぞれ順調に志願者を集めた。高校別合格者上位50校および地域別合格者数は別表のとおり。(学部ごとの志願者数等については立教大学HP <http://www.rikkyo.ne.jp> からご覧いただけます。)

2006年度高校別合格者上位50校

順位	高校名	合格者数	順位	高校名	合格者数
1	豊島岡女子学園	167	62	千葉	葉
2	大宮	109	61	東京	京
3	浦和第一女子	103	60	東京	京
4	川越女子	103	59	千葉	葉
5	淑徳与野	88	58	埼玉	玉
6	川越東	85	57	千葉	葉
7	山手学院	85	56	東京	京
8	東葛飾	83	55	千葉	葉
9	川越	82	54	埼玉	玉
10	小石川	79	53	東京	京
11	江戸川学園取手	76	52	神奈川	川
12	船橋(県立)	73	51	東京	京
13	日比谷	73	50	千葉	葉
14	桐蔭学園	73	49	神奈川	川
15	浦和明の星女子	72	48	千葉	葉
16	薬園台	69	47	神奈川	川
17	国府台女子学院	68	46	千葉	葉
18	桐光学園	67	45	東京	京
19	武蔵(都立)	66	44	千葉	葉
20	大妻	66	43	神奈川	川
21	栄東	64	42	埼玉	玉
22	西武学園文理	64	41	千葉	葉
23	青山	64	40	東京	京
24	鷗友学園女子	64	39	東京	京
25	浦和(市立)	62	38	埼玉	玉



地域別合格者上位3校

地域	上位3校
北海道	札幌西、札幌南、札幌北
東北	安積、山形東、宮城野
関東	豊島岡女子学園、大宮、浦和第一女子・川越女子
甲信越	新潟、長野、長岡
北陸	高岡、金沢大学教育学部附属富山中部
中部	藤枝明誠、静岡雙葉、浜松北
近畿	近畿大学付属和歌山、開智、虎姫
中国	広島学院、広島城北、修道
四国	徳島文理、土佐、高松第一
九州・沖縄	西南学院、福岡大学付属大濠、修猷館



第18代立教大学総長に大橋 英五教授が就任

おおよし ひでいっ (経済学部)

押見輝男総長の任期満了(2006年5月25日)に伴い、後任を決める総長候補者選挙が2月2日(木)午前10時から立教大学池袋キャンパス太刀川記

念館で行われ、経済学部の大橋英五教授(63歳)が次期総長候補者に選出されました。2月10日(金)開催の第758回立教学院理事会は、同選挙の結果報告を受けて、同教授を第18代総長に任命しました。新総長の就任日は、5月26日(金)の予定です。(次号にて大橋新総長インタビューをお伝えする予定です。)

(堀 洋子 56年目)

私は本業のライターの仕事をする前から、現在は副業となっている予備校の模試採点の仕事をしていました。その関係で、かなり早い段階から少子化を身にしみて感じていました。というのも、団塊ジュニアと呼ばれる世代の受験がひと段落した平成5年ごろから、目に見えて仕事量が激減したためです。▼それでも毎年、新設大学が増えていくのが、私には不思議で仕方ありませんでした。子供の数が明らかに減っているのに、これだけ経営が成り立つのだろうか?と。少子化による大学淘汰説が出てきたとき、それは無理もないだろうと思いました。▼私には浪人生の息子がいることもあり、ますます大学受験に関する情報は、身近なものになりつつあります。友人・知人に大学の教員が多いのですが、彼ら彼女らから、教鞭をとっている大学の話を聞くと、私は暗澹とした気持ちになります。makeという英語の過去形をmakeとすると、学生がザラにいるというのです。受験生の親として、一人の社会人として、私は考えてしまいます。「そういう大学に進まうことに意味があるの?」こうした現実がある限り、大学が選別されていくのは仕方ないことでしょう。▼立教大学では、私が在学中の昭和54年から社会人入試を始めました。全国、どの大学にも先駆けてのことです。当時、非常に大きな話題を呼んだのですが、今になってみると、この大学の先見性の素晴らしさに感服せざるをえません。▼今年から全学部入試を始めたこともあり、受験生は25%も増加したとか。みごとな先見性を備えたこの大学に、なんとか自分の子供を送り込みたいものです。

主なニュース

- 2面 2005年度就職状況 定年退職された先生方
- 4面 2007年文学部・経済学部 創設100周年記念行事
- 5面 「地域立教会を訪ねて」 第2回山梨立教会
- 8面 青春!立教 城田憲子氏(44心)

時計台